



# 職人の車載ラック WSR-1412A

このたびは、アイリスオーヤマ製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。  
 この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。  
 また、取扱説明書はお使いになる方がいつでも見ることができるよう大切に保管してください。

- 必要工具**
- ⊕ドライバー (サイズ:2番)
  - ⊖ドライバー (サイズ:6×0.8mm)
  - スパナ 口幅13mm (M8) 用
  - ソフトハンマー (ゴム製など)

## 仕様

製品サイズ	幅1446×奥行1444×高さ1219mm
積載量	上段:棚板1枚当たり10kg 中段・下段:棚板1枚当たり35kg 全体:160kg
耐荷重	上段:棚板1枚当たり10kgf 中段・下段:棚板1枚当たり:35kgf
主要材質	棚板・ポール:スチール(エポキシ粉体塗装) 固定部品:ABS樹脂

※積載量・耐荷重は測定値であり、保証値ではありません。  
 ※商品の仕様は予告なく変更することがあります。

## 安全上の注意

安全に使用していただくために下記の事項を必ずお守りください。

### 車内用収納用品

左記以外の用途には使用しないでください。

### 警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。

- 必ず安定した場所に設置してください。
- 乗る、ゆするなどの無理な力をかけないでください。
- お子さまがいたずらしないよう注意してください。
- 耐荷重以上のものを入れたり、載せたりしないでください。

### 注意

誤った取り扱いをすると、人がけがをしたり、物的損害が発生するおそれがある内容を示しています。

- 車に搭載する際はポールを持ち、収納物が転倒・落下しないように十分注意してください。
- この取扱説明書の組み立て手順にしたがって、正しく組み立ててください。
- 車に搭載してから、必ず全ての脚(左右各4本、合計8本)が接地するようにアジャスターを調整してください。
- 必ず耐荷重以内で使用してください。
- 一点に集中的に荷重がかからないように、できるだけ均一に置いてください。
- 重いものは、下段に置いてください。
- 工具や鋭利なものは、収納ケースに入れて載せてください。
- 腐食やかび・変形・変色の原因となりますので、以下のことに注意してください。
  - ・屋外で使用しないでください。
  - ・水分、油、洗剤などが付着した場合は、速やかに拭き取ってください。
  - ・濡れたものや熱いものを置かないでください。
  - ・シール、テープなどを貼らないでください。
  - ・全体のぐらつきが多い場合は収納量を減らしてください。
- 使用しているうちにねじにゆるみが発生し、ぐらつきことがありますので定期的に締め直してください。

- 天災地変や、不当な修理・改造による事故・破損に対する補償はいたしかねます。
- 製品および梱包材を廃棄される際は、お住まいの自治体の取り決めにしたがって処理してください。

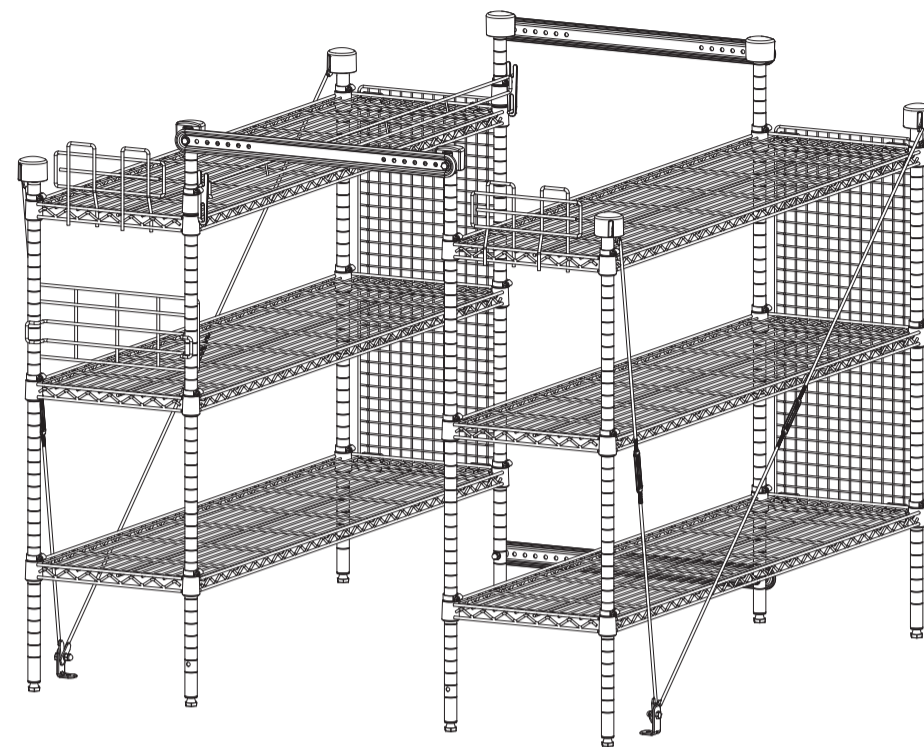
## お手入れの方法

長くお使いいただくために下記の事項をお守りください。

- 汚れが取れにくいときは、薄めた台所用中性洗剤を含ませた柔らかい布で拭いたあと、洗剤が残らないように固くしぼった布などで水拭きしてください。
- アルコール、ベンジン、漂白剤、みがき粉などは使用しないでください。

**アイリスオーヤマ株式会社** 〒980-8510 仙台市青葉区五橋2丁目12番1号  
 ホームページ <http://www.irisohyama.co.jp/>  
 製品に関するお問い合わせは **0120-211-299**  
 アイリスコール (通話料無料)  
 受付時間 平日9:00~17:00、土・日・祝日9:00~12:00 / 13:00~17:00  
 (年末年始・夏期休業期間・会社都合による休日を除く)  
 FAXでのお問い合わせは (通話料無料) **0800-888-2600**  
 Webからのお問い合わせは <https://www.irisohyama.co.jp/support/>  
 メールフォームにご記入のうえ送信してください

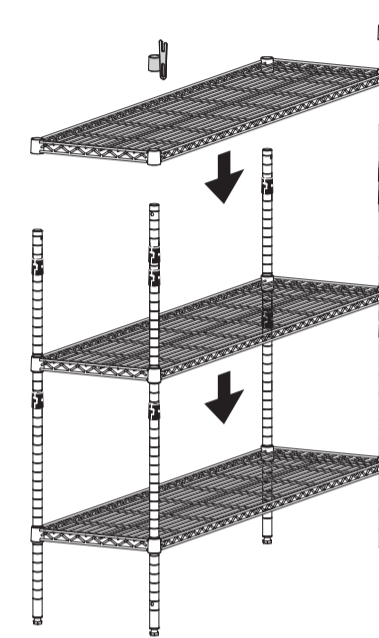
## 取扱説明書



## 必ず組み立てる前にお読みください

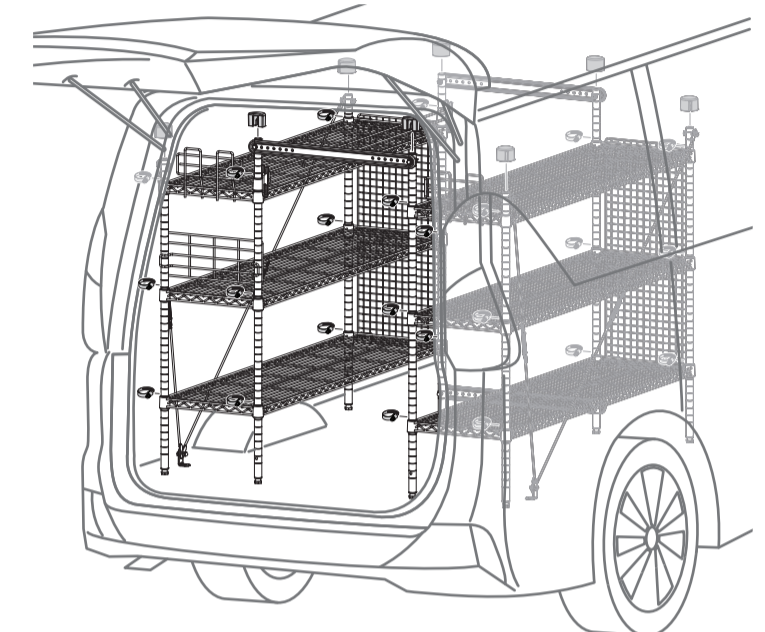
### STEP① 車外

- パーツリストで、パーツがそろっていることを確認します。
- ラックを片側ずつ組み立てます。  
**※まだ、連結はしないでください。**



### STEP② 車内

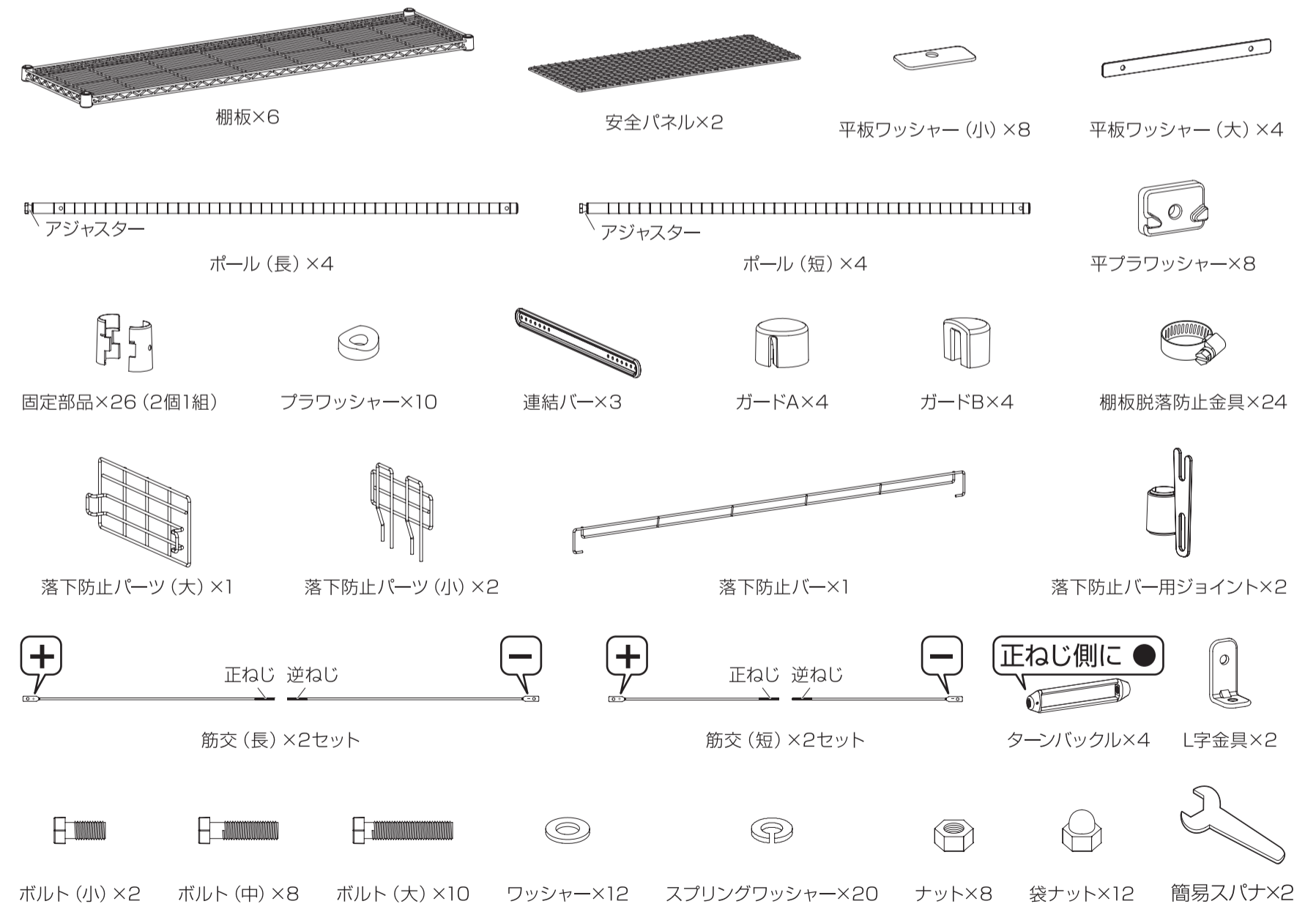
- 組み立てた2台のラックを車に載せて、車体に仮止めします。
- 2台のラックを連結し、安全パネルや落下防止パーツを取り付けます。



⑤ ラックを車体に本止めて完成です。

## パーツリスト

●組み立ての前に、パーツがそろっていることを確認してください。



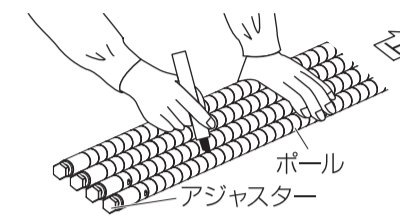


# 組み立てかた

- 組み立ては平らな場所で、床などに傷がつかないように段ボールなどを敷いて行ってください。
- 必ず2人以上で組み立ててください。
- 部品は正確に取り付けてください。
- 設置場所の近くで組み立ててください。

## 棚の取り付け位置を決める

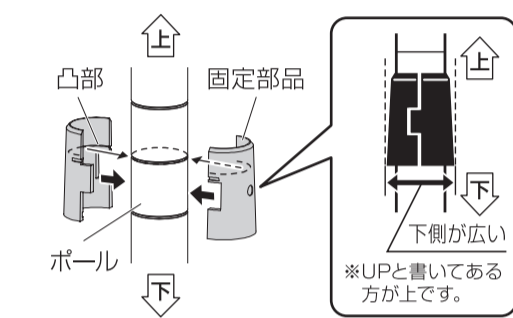
棚ののせる物の大きさに合わせ、棚の取り付け位置を決めます。  
※下段は、タイヤハウスの高さを測り、干渉しない位置に取り付けます。



※取り付け位置に水性マーカーなどで印をつけておくと作業しやすくなります。

## ボールに固定部品を取り付ける

※1段組み終えるごとに取り付けます。



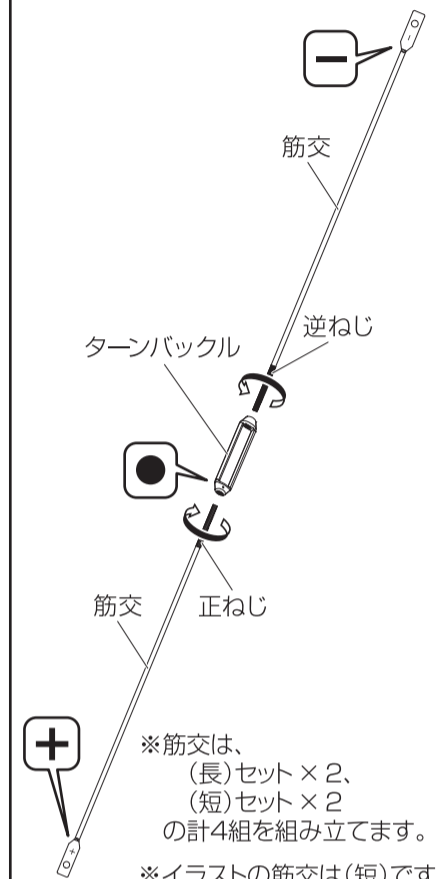
棚は1段ずつ下から順に組み立てます。固定部品を、上記ボールで決めた取り付け位置にセットします。このとき、固定部品内側の凸部がボールの溝に合うようにセットしてください。

**注意** 取り付けの際に、固定部品の凸部が溝からずれないように注意してください。

※落下防止バーを中段・下段に取り付けるときは、対象の棚を付けてから、その上の棚を取り付ける前に落下防止バー用ジョイントを取り付けてください。

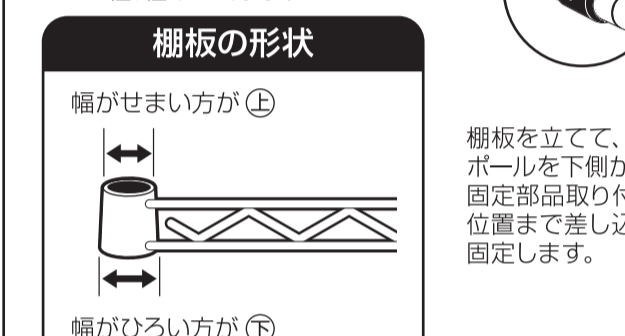
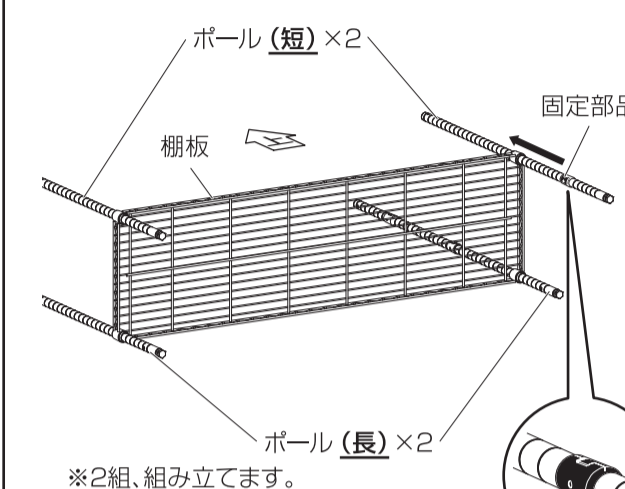
## 1 ターンバックルと筋交を組み立てる

ターンバックルの「点(●)」を筋交の「+」に合わせて組み立てます。  
※筋交は、(長)と(長)、(短)と(短)を組み合わせます。



## 2 最下段の棚板にボールを取り付ける

※落下防止バーを下段に取り付けるときは、落下防止バー用ジョイントも取り付けてください。後から取り付けられません。



棚板を立てて、ボールを下側から固定部品取り付け位置まで差し込み固定します。

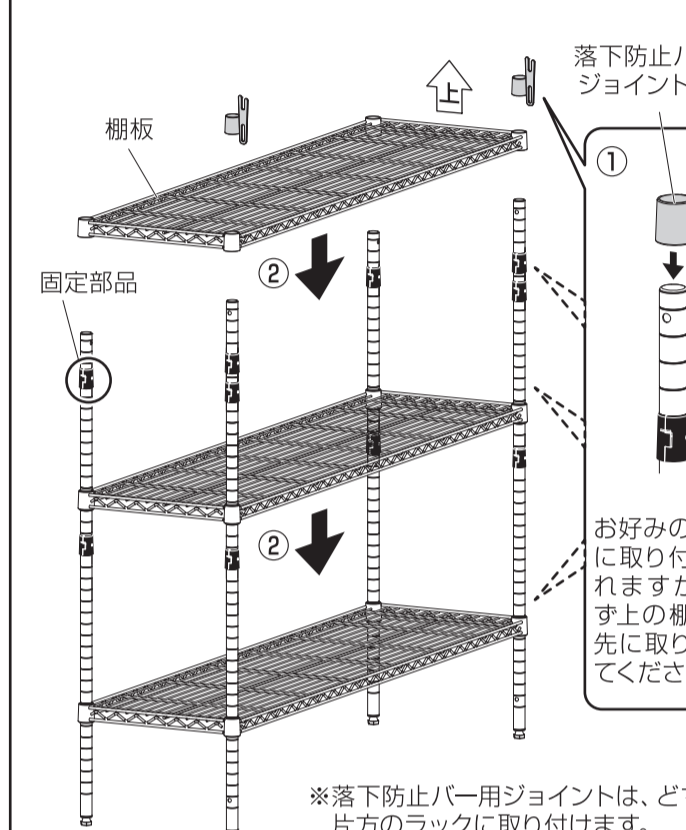
**注意** ボール(長)は棚板の一方の長辺に取り付けてください。

## 3 ①落下防止バー用ジョイントを取り付ける

※落下防止バー用ジョイントは、中段や下段に取り付けることもできます。「ボールに固定部品を取り付ける」参照。

## ②残りの棚板を取り付ける

ボールを立てて①と同様に固定部品を取り付けて、棚板を差し込みます。残りの棚も同様に取り付けます。

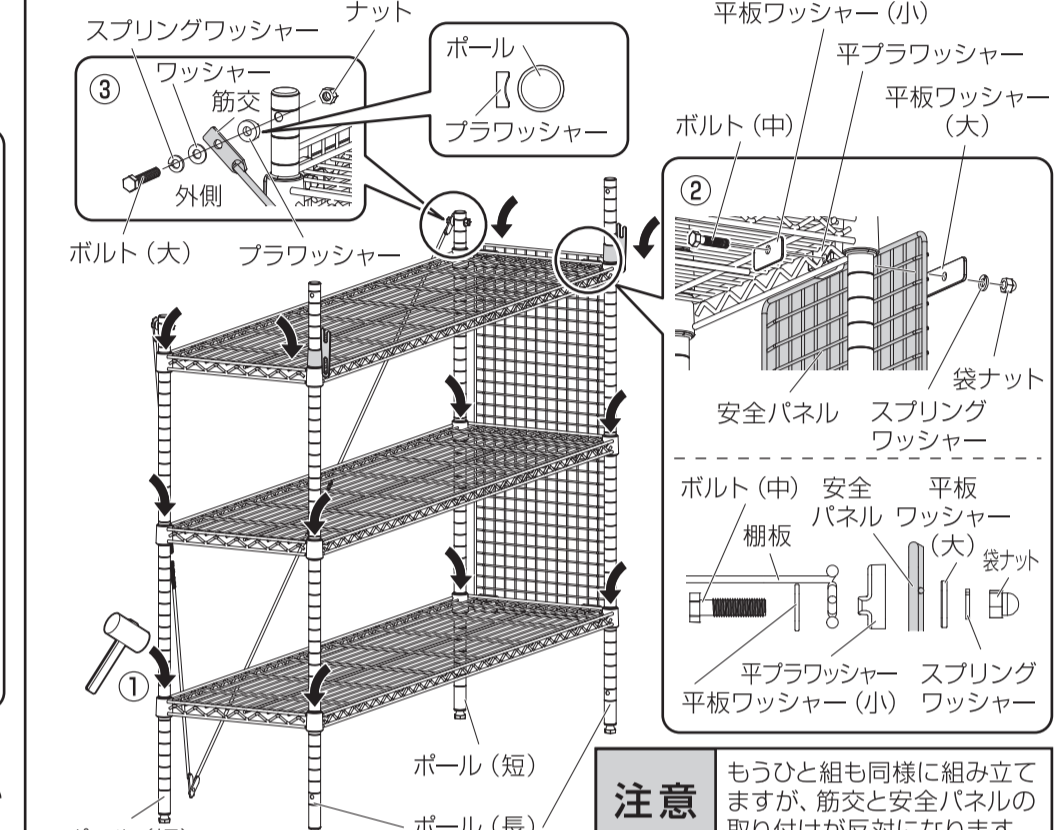


## 4 ①棚板をしっかり固定する

棚の四隅を対角同士交互にソフトハンマー(ゴム製など)で軽くたたいてしっかり固定します。

## ②安全パネルを取り付ける

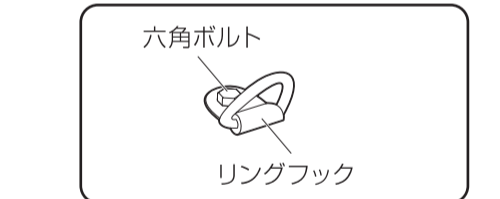
※筋交(長)と筋交(短)の取り付けかたは同じですが、安全パネル側に筋交(長)を取り付けます。



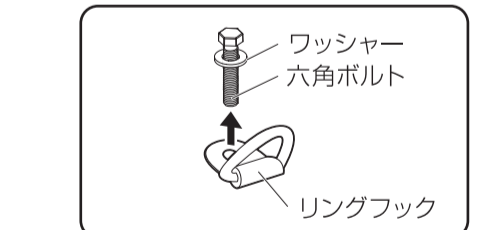
## 5 車内にあるリングフックを、L字金具に交換する(2か所)

※六角ボルト・ワッシャーは、車に取り付いているものを使用します。

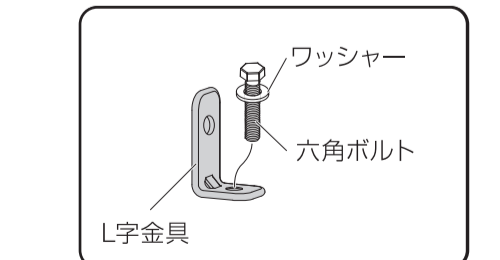
### ①リングフックを確認する



### ②六角ボルトを外し、リングフックを外す



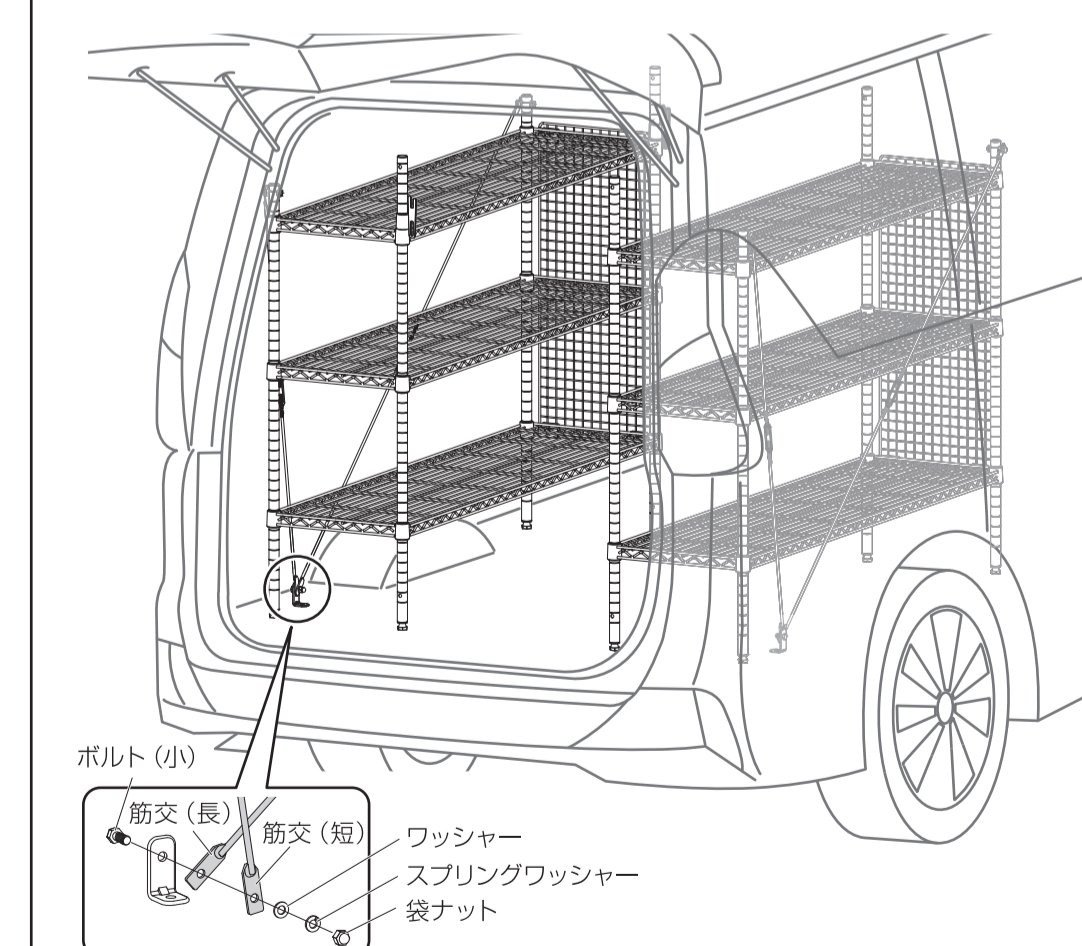
### ③L字金具を②で取り外したボルトとワッシャーを使い、仮締める。



## 6 ①の組み立て品2つを、向きと位置に気を付けて、車に載せる

安全パネルのある方が前、筋交のある側が車の外側になります。  
※2つ共、脚が接地する位置に載せてください。

## ②4か所のターンバックルを回して筋交の長さを調節し、ボルトでL字金具に取り付け、仮締める

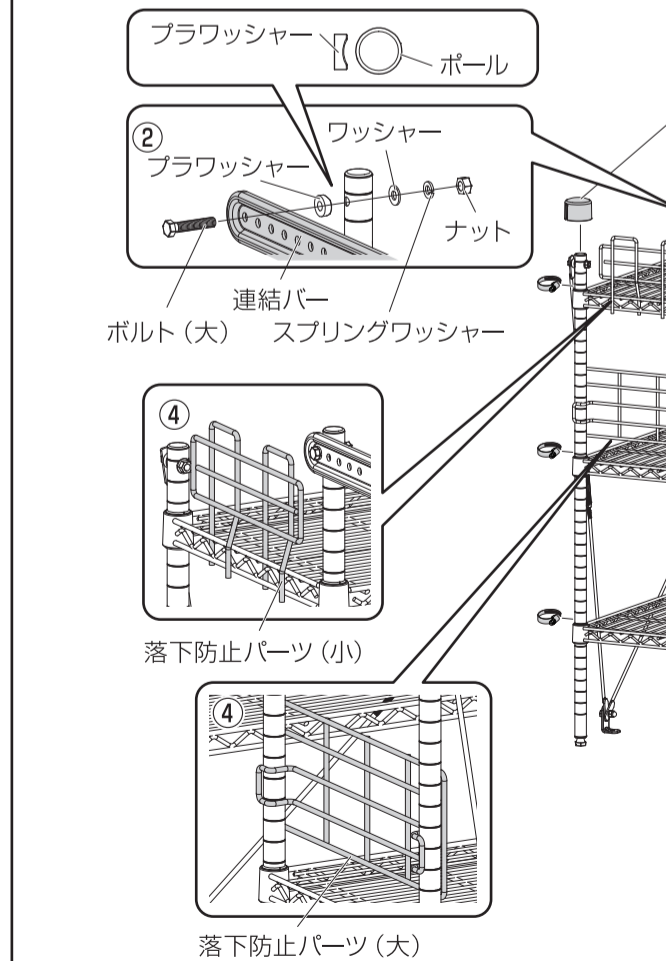


## 7 本作業は、車内での作業になります。

### ①落下防止バーを取り付ける

### ②二つのラックに連結バーを取り付ける(3か所)

### ③ガードA、Bを取り付ける

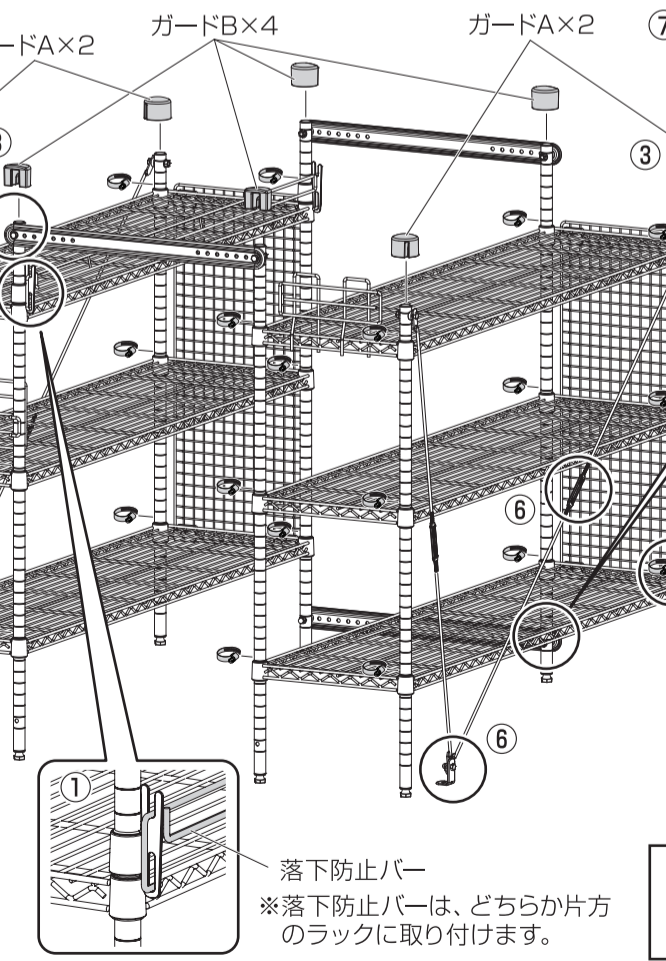


### ④落下防止パーツ(大、小)を取り付ける

落下防止パーツは好みの取り付け位置に変更することができます。

### ⑤アジャスターが全て床面に接触するように調整する

がたつかないように、アジャスターを回して調整してください。



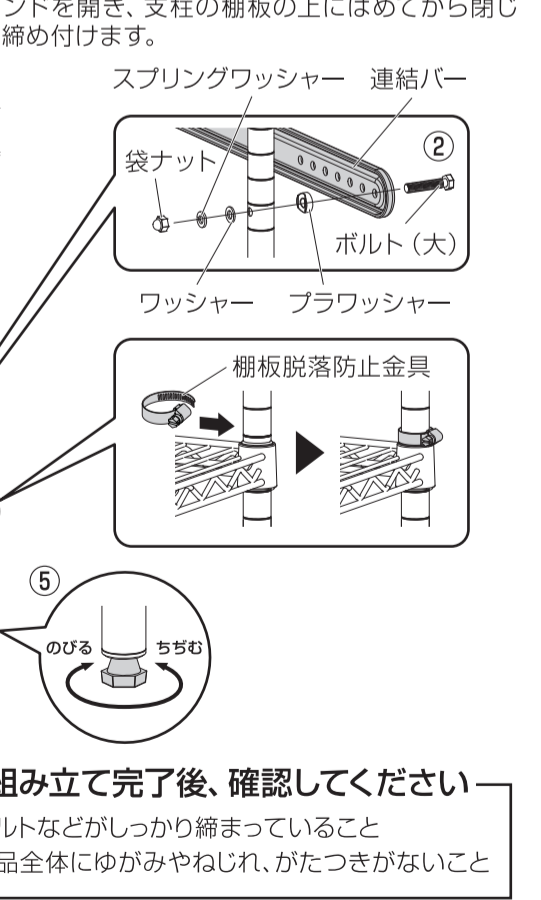
### ⑥ターンバックルを回しながら筋交の長さを調節し、筋交・L字金具の各ボルトを本締めする

L字金具は、筋交がねじれないように固定してください。

※L字金具はラックとほぼ直角となるため、車体に対して角度が生じる場合があります。

### ⑦棚板脱落防止金具を取り付ける(24個)

バンドを開き、支柱の棚板の上にはめてから閉じて締め付けます。



**組み立て完了後、確認してください**  
・ボルトなどがしっかり締まっていること  
・製品全体にゆがみやねじれ、がたつきがないこと